

# 八雲町CS連携だより

第6号

発行日:令和4年3月28日

発行元:八雲町コミュニティ・  
スクール推進グループ

ご存知ですか?

八雲町では…町内4つの中学校区を基盤にして  
小中一貫型コミュニティ・スクールを導入しています!



▲八雲町CSについて  
(八雲町HP)



各中学校区においては、学校、保護者、地域が一体となって  
「**目指す15歳(中学3年生)の子どもたちの姿**」を共有し、  
地域ならではの学習素材や地域の人材を取り入れた取組を実施しているほか、  
小中学校で統一した学習・生活のきまりを定めるなど、様々な活動が行われています。

あなたの地域は?



## 各中学校区での取組状況

### 八雲中学校区 (八雲中・八雲小・浜松小)



#### 【令和3年度の取組実績】

- 小中一貫の取組として「ノーゲームデー及び家庭学習強化週間」「八雲中学校を知らう!」を開催。学校運営協議会での声から、町内郵便局の協力により「通学路危険箇所マップ」を作成した。マップは校舎や町立施設での掲示を通して、児童の交通事故防止に活用している。

#### 【令和4年度の予定】

- 小・中学校の職員の相互交流や教科連携授業の取組、旗の波作戦の実施を継続する。

### 野田生中学校区 (野田生中・東野小・野田生小・山越小)



#### 【令和3年度の取組実績】

- 学校独自に取り組んでいた「クリーン作戦」を、地域の事業所と連携しながら、中学校区で一本化して合同実施した。
- CSに関する広報誌を発行。東野・野田生・山越地区の全戸に配布した。

#### 【令和4年度の予定】

- コロナ禍の影響により実施できない事業も多かったが、再編成した部会がうまく機能できるよう、事務局業務のさらなる工夫・改善を図る。

### 落部中学校区 (落部中・落部小)



#### 【令和3年度の取組実績】

- 学校運営協議会では、子どもや地域の実態を情報共有すると共に、学校が抱える課題を議題に挙げ「地域に何ができるか」をテーマに熟議を実施している。
- 学校運営協議会が主となり、関係機関と連携して地区の危険箇所点検を実施。子どもたちの登下校をイメージしながら、自分たちにできることを考えるきっかけにつながった。

#### 【令和4年度の予定】

- 全国サミットでの発表を糧に、よりよいCSに向けて、ゼロから見直す気持ちでさらなる改善・工夫を図っていきたい。

### 熊石中学校区 (熊石中・熊石小)



#### 【令和3年度の取組実績】

- 地域住民・団体・企業に協力いただきながら、様々な体験・学習活動を展開している。

#### 【令和4年度の予定】

- コロナ感染状況を見ながら、地域学習や保育所・高校との連携等を再開していく。
- 地域の文化や伝統芸能について学習する機会の確保を継続する。
- 中学校区CSの目指す「地域の子ども像」を確認すると共に、その具現化へ向けてCSの活動の重点・特色となるものを検討していく。

# 地域と学校の連携推進協議会レポート

子どもたちの成長を支えていくために、「コミュニティ・スクール」の仕組みを活用し、地域と学校とが相互に連携・協働しながら一体となって活動を充実させる方法について理解を深めることを目的として、北海道教育委員会では全道4ブロックで「地域と学校の連携推進協議会」を開催しています。

道南ブロックでは、令和3年11月30日(火)に Zoom でオンライン開催されました。



▲道南各地より 54 名が参加

八雲町からは東野小・野田生小・山越小・熊石小・熊石中・CS 推進グループから職員が研修に参加しました。



## 行政説明「CSと地域学校協働活動の一体的な推進について」



説明:北海道教育庁生涯学習推進局社会教育課

◆北海道の教育環境を取り巻く状況として、都市部への人口一極集中＝地方の過疎化、が深刻であり、「一度もクラス替えを経験しないまま卒業する子」が多く存在します。(八雲町も同じケースがありますね。)子どもたちが固定化された人間関係の中で育つことから、学校や家庭以外の場所＝地域でも多様な方と交流する機会を、学校と地域が連携して、意図的に作り出していきたいですね。

## 実践発表「学校と地域を結ぶコーディネーターの活躍事例について」

発表者:大樹町教育委員会/奥尻町教育委員会

- ◆家庭科(ミシン)や書写の授業を地域の方にサポートしてもらっているという事例では、「学校としてもとても助かる！」という現場の声が聞こえてきました。
- ◆活動に参加している地域の方は、「子どもや仲間とのおしゃべりが楽しいから」「自分のできることで誰かに喜ばれたいから」と話されるそうです。失われてしまった地域の交流を、“学校”という場を通じて取り戻す＝学校を通じて地域が元気になることにもつながっているのですね。

## パネルディスカッション「地域とともにある学校のつくり方」

パネラー:北海道地学協働アドバイザー・実践発表者(大樹町・奥尻町)  
コーディネーター:北海道教育庁日高教育局



- ◆CSの趣旨は地域のみなさんと手を取り合って子どもたちを育てること。今の子どもたち・地域にはどんな困りごとがあるのか？そこを出発点にして活動することが大切。
- ◆学校の先生は必ず異動があるので、先生がいなくなっても活動を続けられる仕組みづくりには、地域住民の参画とノウハウの蓄積が必要不可欠です。

CS推進グループより

八雲町の学校では、地域の皆様のご協力のおかげで、その地域ならではの学習や体験活動に取り組んでいます。

今後は地域の皆さんから、今の子どもたちの様子で気になることや、こんな大人に育ててほしいという願い、地域で抱えている課題など、地域の声をぜひお寄せいただきたいと思います。



八雲町から、落部小学校が実践発表！



# 第16回小中一貫教育全国サミット in 北広島

毎年開催されている小中一貫教育全国サミット、今年は令和3年11月12日から、北海道を舞台にオンラインで開催されました。この中の「社会に開かれた教育課程」の分科会において、落部小学校が「小中一貫教育とコミュニティ・スクールで地域の未来を創る学校づくり」というテーマで実践発表を行いました。発表の様子をレポートします！



▲オンデマンド配信を視聴する様子

## 実践発表

### 「地域の子供は地域で育てる 八雲町小中一貫型CSの取組」

発表者 八雲町立落部小学校 校長 本庄 伯幸 氏



地方では学校が地域・地域文化の要であるとして実践発表。落部中学校区は共用のグラウンドを挟んで小中学校が向かい合っており(施設隣接型)、落部小学校の児童全員が、そのまま落部中学校に進学することから、子どもたちの関係性が固定化されてしまうという課題がある。

- ◆落部地域は、青少健、スポーツクラブ、子ども会など、子育て関連団体の活発な活動が展開されてきており、CS 導入前から「**地域の子供は地域で育てる**」という**気概がある地域**と言える。
- ◆落部中学校区が設定した「めざす15歳の姿像」は、『自ら学び鍛え、自他を向上させる子ども』。
- ◆近年の学校運営協議会では、**子どもや地域の実態の情報共有、学校が抱える課題まで**を議題に挙げ、「**解決のために地域住民には何が出来るか**」をテーマに熟議を実施している。
- ◆学校運営協議会の構成員には、「多様な人材を入れる」のではなく、「**地域に根差した人を入れている**」のが特徴。
- ◆9年間を見通したカリキュラム・マネジメントが可能となり、学校と地域がコラボレーションする学習活動を多く創出することにつながっている。(稲作体験や食の出前授業、合同避難訓練など)

## 助言者講評

落部小学校に加え、品川区立豊葉の杜学園、北広島市立緑ヶ丘小学校からも実践発表が行われ、全体を通して助言者から講評をいただきました。

助言者 京都産業大学 教授 西川 信廣 氏



- 社会に開かれた教育課程は、「地域人材を活用すればいい」ではない。地域の人から「**伝統や文化**」を学ぶところで止まっている学校が多いが、**その地域の「課題」まで学ぶ必要がある**。また、地域からの理解と協力を得続けるためには、**子どもがどのように成長したのかを、どのように見せていくか、という視点も重要**。
- 学校教育は全国どこにいても平等・公平な教育が受けられるべきだが、地域教育は違う。地域によって求められる教育は異なるからだ。異動もある教師は「**風**」の人、地域は「**土**」の人と呼ばれる。**風(教師)が土(地域)を育み、土(地域)が人(子ども)を育てる**。学校の先生は専門性があり、地域に専門性(知識)を還元すると、地域が賢くなる。賢くなった地域が、地域の子供を育てていく。
- 小中学校の9年間で一度も異動しない先生がどれほどいるのか。目指す15歳の子供像を作っても、**完成図を見届けられる先生はいない**。でも、**地域の人**は**それが出来る**。地域の皆さんに**どれほど関わり続けてもらえるか**が重要。





# Report



町内で実施された、地域と学校が協働した活動について、その一部をご紹介します。ご協力いただいた地域の皆さん、ありがとうございました！

【八雲中学校区】

## 浜松小学校

浜松っ子は、小学校6年間でそば打ち名人になれるらしい…！

### そば打ち体験

その調子！



浜松地区にある八雲そば研究会の皆さんを講師に招き、浜松小で10年以上続けられている「そば打ち体験」。今年はコロナ禍により2年ぶりの開催となりました。子どもたち一人一人に、ほぼマンツーマンで講師の先生がついてくれて、丁寧に打ち方を教えてもらいましたよ。出来上がったそばはもちろんとってもおいしくて、みんな大満足！



こねこね…

私たちが2年ぶりに教えるのを楽しみに待っていたんだよ！

【落部中学校区】

## 落部小学校

3年生が社会科の授業で落部の水産加工会社へ

### 地域の工場見学

落部の水産加工会社・長谷川水産で工場見学を実施させていただきました。「工場で働いている人は何人くらい？」「原料はどこから仕入れているの？」「働いていて大変なことは？」など、子どもたちからの質問もたくさん！



たらこの加工の仕方だけではなく、製品の流通や工場での仕事の様子を実際に見学できたことで、新たな発見に驚きの表情を見せる子どもたちも…。子どもたちは地域の「ものづくり」の仕事について、より一層興味・関心を深めることができました。



【野田生中学校区】

## 東野小学校

おっきなマルメロ獲れたよ！

### マルメロ狩り

地域の方のご自宅に招かれ、今年もマルメロ狩りを体験させていただきました。爽やかな良い香りに誘われながら、大きくて黄色いマルメロを、子どもたちは夢中で収穫していました。



獲ったどー！

今年も貴重な体験をありがとうございます！



【熊石中学校区】

## 熊石小学校

先生は地域の方！

### スキー学習

学校運営協議会の委員でもある地域の方を指導員に招き、今年も子どもたちへスキー技術を指導していただいています。



子どもたちは真剣に取り組んでいましたよ！



すい〜

ひらたないスキー場にて

## バックナンバー

「八雲町CS連協だより」のバックナンバーは、八雲町ホームページからご覧いただけます。

八雲町 CS連協だより



【発行元】八雲町コミュニティ・スクール推進グループ(八雲町教育委員会内)  
〒049-3112 八雲町末広町154番地 ☎0137-63-3131